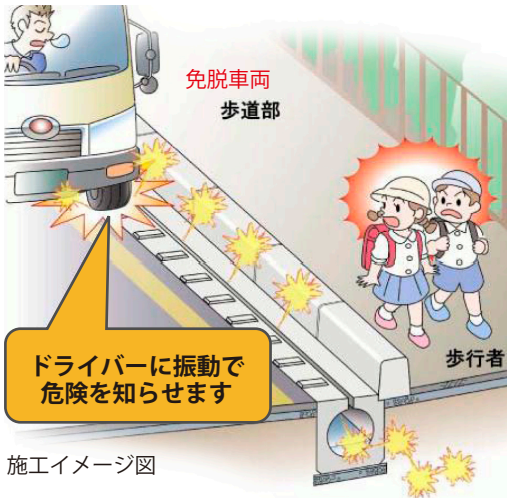


あんしんバリアー工法

逸脱車両と歩行者に危険を知らせる振動機能付製品

側溝や蓋に凹凸をつけて、ドライバーに振動で危険を知らせる工法です。
 メンテナンスは不要で、設置するだけです。余分な施工費用は発生しません。凹凸の高さは5mmですから周囲への騒音の心配もありません。
 居眠り運転やわき見運転で車道を逸脱した車両が凹凸の上を走行することで、ドライバーに振動が伝わり事故を回避させます。また、歩行者にも素早く危険を知らせ、双方に高い安全性を提供いたします。



全国で6万m以上の施工実績！



各種側溝に対応可能

- 暗渠型側溝
- スリット付側溝
- 可変勾配型側溝
- 鉄筋コンクリートL形
- 各種コンクリート溝蓋

など

工法研究会 会員社による走行実験 あんしんバリアー工法を皆さんにお勧めするため、実際に走行実験を行い、体感しました。



自転車やオートバイでも**安全性が確認されました。**

走行実験の様子

類似工法

- ①高視認性区画線
 リブ式と非リブ式があります。リブ式はライン上に突起を設けたもので、メーカーにより様々な凸形状があります。センターラインや路側線に全国で一般的に施工されているのは周知のとおりです。リブ式を実施した現場は施工前と比べて、交通事故の発生率が著しく減少したとの新聞記事が多く掲載されており、今では交通安全対策になくてはならないものになっています。
- ②ランブルストリップス
 舗装路面の中央ラインにカマボコ状に凹（ヘコミ）形状を削るものです。正規の走行車線を逸脱したドライバーに振動や音で事故を回避するシステムです。主に北海道で交通安全対策として施工され、事故がほぼ半減したと報告されています。国土交通省の推奨技術第一号に選定されました。

「あんしんバリアー工法」は、
「高視認性区画線」や「ランブルストリップス」と同様の効果を発揮する工法です。

さらに、あんしんバリアー工法は ...

- 路面を削る必要がなく、余計な設置費用がかかりません。
- 凹凸部が5mmと僅かなため摩耗もなく、メンテナンスフリーです。
- ほとんどの側溝に採用が可能です。

